

上田図書館倶楽部だより



ueda.zuku.jp

2011
5・6
月号

図書館振興財団助成事業として、
NPO 法人上田図書館倶楽部が発行しています。
ホームページアドレス
http://ueda.zuku.jp/
電子ジャーナル「環」桜花、公開中
ツイッター @tosyokan_club

図書館の「と」と、倶楽部の「く」、それから
コミュニケーションの基本である「話す」を
かけて「とく」という名前をつけました。

特集「ブックトーク」



ブックトーク・ゼミナールの講義風景
選書・構成などを受講者自ら検討する

ブックトークってなんだろう？
子どもたちに本を紹介する方法にブックトークというものがあることをご存知でしょうか。インターネットで「ブックトーク」を検索すると、十四万件も出てきます。その検索結果を「上田市」で絞り込むと一気に減って一七七件に。全国的には盛んですが、上田市ではまだまだ知られていないようです。ブックトークとは、テーマを立て、そのテーマに沿って何冊かの本を紹介する行為です。読み聞かせや朗読とは異なり、本を最初から順に読んでいくということはありません。なぜなら「その本の内容を教えること」ではなく「その本の面白さを伝えること」「聞き手にその本を読んでみたいという気持ちを起させること」を目的にしているからです。五月八日(日)にはブックトークの講演会もあります。ぜひ参加してみてください。

「ブックトーク」のパイオニアに

四月末日現在、「ブックトーク・ゼミナール」全十回の第七回が終了しました。ゼミナールの名称通り、受講者が一貫して主体的に、課題を決め、ブックトークを子どもに実演するまでをプログラム化した講座であり、毎回が連続した流れの中で重要に位置づけされた内容になっています。そのため全回出席可能を原則条件としました。

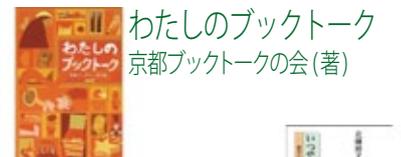
幸い、上田市立西内小学校二年生の学級が実演を受け入れてくださり、六月の実演に向けて具体的な日程計画の段階に入っています。

「ブックトーク」は、あるテーマを中軸にすぎれた多様な本を紹介し、受け手がそれからの本に興味を持ち、手に取って読む、そうした読書推進のたいへんすぐれた有効な方法です。従って、



受け手が本を手にして自分でそれを読まなければ、活動の意味はほとんどゼロです。そのためにはどうして専門の知識・技能と経験が必要ですか。その第一歩を踏み出し、この地方のパイオニアになってもらうためのゼミです。少数による集中実践講座としたのもそのためです。
受講者は回を重ねるごとに意欲が高まり、六月に向けて、選書・構成・台本書き・練習といま着々と力を蓄え準備をすすめています。
チーフ 稲垣 勇一

ブックトークに関する本を紹介します。



わたしのブックトーク
京都ブックトークの会 (著)



いつでもブックトーク
一構想から実施まで8つのポイント
北畑 博子 (著)



学校DEブックトーク
北大路ブックレット



キラキラ応援ブックトーク
キラキラ読書クラブ (著, 編集)

実際にブックトークを行った記録やそれに至るための学習内容、子どもたちの反応など。始める前のウォーミングアップに。

上田図書館倶楽部の23年度総会を開催します

倶楽部の二十三年度総会を五月二十一日午後一時半より、上田情報ライブラリー内のセミナールームにて開催します。

電子ジャーナル「環」桜花(おうか) (第2号)を発行

「環」桜花は盛りだくさんな内容&花の写真を多くして春らしく仕上げました。またバックナンバー目次一覧を設け、創刊号も見ていただけます。倶楽部のホームページからどうぞ。「環」は上田市情報ライブラリー内のブックカフェにつづじて印刷されたものを実費で頒布しています。

千曲川地域の文学講座事業

- 「信濃デッサン館」の32年～上田と、槐多と、私と
平成23年6月25日(土) 14:00～16:00上田駅前ビル・パレオ2階会議室
信濃デッサン館・無言館館主の窪島誠一郎さんを迎え、32年におよぶ上田での暮らしと上田への愛着、村山槐多への思いなどをお話いただきます。

定員：90名 参加費：500円(高校生以下無料。要申込)
申込：5月20日(金)から受付開始

調べもの学習講座事業

- 日常の疑問から調べ学習へ
何でも調べるわくわく塾(袖ヶ浦市)の取り組み
平成23年6月19日(日) 13:30～15:30 セミナールーム

袖ヶ浦市は子どもから大人まで調べもの学習に力を入れ、「図書館を使った“調べる”学習コンクール」に応募するなど、さまざまな活動を続けています。袖ヶ浦市学校図書館支援センターの中村伸子さんを迎え、調べもの学習の取り組みなどについてお聞きし、ご指導いただきます。

受講料：500円(高校生以下は無料。要申込) 定員：30名
申込：5月21日(土)から受付開始。

情報リテラシー教育・情報収集サポート事業

- ネット&カフェ あなたのペースで進めるパソコン演習
平成23年5月30日(月)、6月27日(月) 13:30～15:45
セミナールーム&ブックカフェつつじ
初心者の方を対象にしているので、焦らずゆっくり進められます。

1回1,000円(お茶代含) ※初回のみテキスト資料代として1000円追加。

- 第5回 腹話術講座(講師：竹田貴一さん)
～パペットミュージカルに挑戦！～
平成23年6月18日(土) 13:30～15:30 セミナールーム

受講料：500円、親子は800円(資料代等) 定員：30名
申込：5月21日(土)から受付開始。

- 女性のためのヨガ教室 会社帰りにリフレッシュ!
毎月、第1・3月曜日 18:30～ 駅前ビルパレオ2階会議室

1回700円(当日受付) ※ヨガマットをご持参ください。

図書館振興財団助成事業活動カレンダー

繭ホール・サロントーク第11回

- 清水たか子さん(清水金左衛門の子孫と結婚、『蚕都物語』著者)
「蚕都物語～たね屋金左衛門のはるかなる旅路～」
平成23年3月5日(土) 18:30～20:00上田駅前ビル・パレオ2階会議室



会場には32名の参加者が訪れ、清水さんの話に耳を傾けました。

たね屋金左衛門こと清水金左衛門は、養蚕農家の蚕が病気にならずによい繭ができるようにするには、蚕室の乾湿度が大切と考え、数値で管理できる「乾湿計」を発明

するなど、養蚕を科学的に深く掘り下げて研究し、多くの文献を残しました。その文献も失敗例をも見聞きしながら、専門の彫り師、刷り師、絵師を雇ってその技術を製本し改定を繰り返しながら蓄積していったのです。この「乾湿計」発明のように、常に強い問題意識を持って仕事に専念していると必ず解決することを教えてくれました。

サロントーク 地域文化の発掘と創造

繭ホール・サロントーク第12回

- 350年の歴史を継ぐ女性杜氏
～岡崎酒造(株)の岡崎美都里さん～

平成23年5月14日(土) 開場/午後6時 開始/午後6時半ことばの繭ホール



徳川4代将軍家綱の時代に創業した上田市の岡崎酒造。

その12代目の当主、岡崎美都里さんが代々受け継がれてきた歴史と酒造り極意を語ります。全国で1500人いる杜氏の中で女性は30人ほど、長野県では5人のみ。女性の視点から見た酒蔵のお話もあります。

受講料：500円(コーヒー付。要申込) 定員：30名
申込：4月20日(水)から受付開始。

市民交流の場の提供事業

- 立川談慶さん落語会

平成23年5月7日(土) 開始/午後6時半～ ことばの繭ホール

前売/一般1,000円 当日/一般1,200円 高校生以下無料(要申込)

- 岩崎信子さん朗読の夕べ～辻邦生・立原道造作品他～

平成23年6月18日(土) 開始/午後6時半～ ことばの繭ホール

前売/一般1,000円 当日/一般1,200円 高校生以下無料(要申込)

受付は、それぞれ一ヶ月前頃からブックカフェつつじ、事務局にて行います。電話での申し込みは上田情報ライブラリー(0268-29-0210)でも受け付けています。(会員は2割引) 定員は70名。(先着順です) それぞれの詳しい情報はチラシや倶楽部HPなどをご覧ください。問い合わせは上田図書館倶楽部事務局(0268-25-3115)まで。

絵本読み聞かせ人材養成事業

- 読み聞かせレベルアップ講座「ブックトーク」

平成23年5月8日(日) 13:30 上田駅前ビル・パレオ2階会議室

講師に原村図書館司書の宮坂順子さんを迎え、今回の特集でもとりあげた「ブックトーク」についての講演会を行います。1つのテーマをめぐって、さまざまな本が登場することで本の世界の豊かさに触れる。読み聞かせの力にしてください。

受講料：500円(高校生以下は無料。要申込) 定員：60名

- オカリナうららNao&口笛コンサート

平成23年3月12日(土) 18:30～ ことばの繭ホール

東日本大震災のため、中止いたしました。

- ブックトークゼミナール(第6回)

第6回 3月27日(日) グループ活動。

選んだ本をどのように伝えるかの検討をしました。本によってあらすじを伝えるもの、おもしろい目次を紹介するもの、などさまざまな工夫をすることになりました。

- 情報検索研修会(第1回)

実施日時 3月19日(土) 10:30～16:00

講師：余野桃子氏(東京都立中央図書館 情報サービス課)

内容：情報検索の全体概要と基本手順の講義

とても濃い内容の講義でした。受講生は午前午後にわたる講義に集中し、終了時には大きな充実感がありました。この講義では、いかに深層情報(データベース等の専門情報)を検索するかを、ツールやデータベースを含めて教えていただきました。

エコルを使って 図書館を 活用しよう!

第七回

エコルの図書館訪問

地域文化を伝えるー

青木村図書館

四季の移ろいが美しく北に子檀嶺岳、南に夫神岳、西に十観山の青木三山を望む自然に恵まれた地に青木村図書館があります。



1. 広い瓦屋根が特徴の外観 2. エコルの図書館ではめずらしく靴を脱いで入ります
3. エントランスの展示コーナーには小学生の力作 4. 木のぬくもりに癒される館内
5. 充実した児童図書コーナー 6. 特集コーナーと奥にパソコンコーナー 7. ガラス瓦で外の光を取り入れた明るい館内

平成十五年五月に開館した青木村図書館は、全面木造建築で、木の香りが漂う平屋作り建物で来館者を温かく迎えてくれています。

生涯学習の拠点としても、多くの皆様に利用され、教養と知識習得の糧として、村のコミュニティ・情報交換の場としても期待されています。また、設備も充実しており、教養・情報・文化サービスを提供することができる、高度情報社会にふさわしい図書館でもあります。

六五〇平方メートルのワンフロア。広々としたフローリングの床面、壁面のむき出しになった木の枠組みが温かみを感じさせてくれています。

館内は、飲食もできるエンランスホール、学習コーナー、児童・幼児コーナー、パソコンコーナー、調べものコーナー、お話室に分かれ、多様なニーズに対応できるようになっています。

特徴としては、

一、歴史文化資料館の併設
渡り廊下でいくことが出来る資料館は全て県産材を使用

二、児童図書の充実

三四、〇〇冊の蔵書数のうち約四割が児童図書で占められており、青木村で晩年を過ごされ絵本の世界で数々の賞を受賞しております故・瀬川康男さんのコーナーや青木村在住であり全国各地で原画展などが開かれていた齋藤隆夫さんのコーナーもあり、多くの人に利用されています。

三、児童図書のおはなしの会

第一土曜日
乳児対象のおはなしの会
第二木曜日
幼児対象のおはなしの会
第四土曜日
三、ブックスタート事業の実施
九ヶ月〜十ヶ月の検診の折に絵本のすばらしさ、読んであげることの大切さを紹介

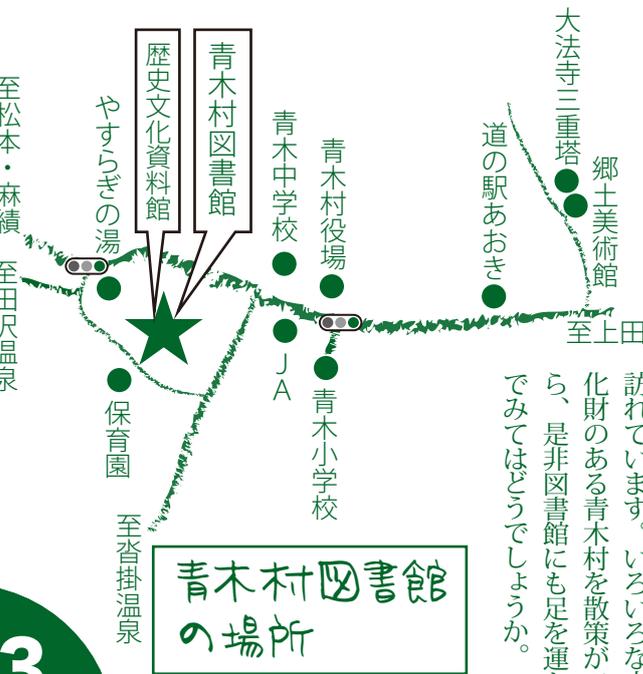
四、地域の方々との交流

夏には朗読会やお話の会などを行う「夕涼み会」。秋にはお話の会や工作もあり大人も子供も楽しめる「図書館フェスタ」などを実施。多くの村民に利用していただけているような取り組みをとおして利用者も確実に増えており、平日で一五〇冊、休日には三〇〇冊程の貸出があります。村外からの利用者も多く訪れています。いろいろな文化財のある青木村を散策がてら、是非図書館にも足を運んでみてはどうでしょうか。

してあります。青木村出身で俳人であり、ジャーナリストでもありました、栗林一石路の資料展示室、反骨精神と正義感による百姓一揆関係の資料がある青木村義民資料展示室、古代東山道が村を従貫したことによる豊かな歴史と文化が共存したことを示す古代遺跡発掘展示室に分かれており青木村の歴史を知ることができます。特に百姓一揆関係の資料が充実しています。

三、児童図書のおはなしの会
第一土曜日
乳児対象のおはなしの会
第二木曜日
幼児対象のおはなしの会
第四土曜日
三、ブックスタート事業の実施
九ヶ月〜十ヶ月の検診の折に絵本のすばらしさ、読んであげることの大切さを紹介

し、一人に二冊ずつの本を配布して、子育て支援に力を入れていきます。
一冊はロングセラーである瀬川康男が絵をかいた「いいないないばあ」もう一冊は「0・1・2」のシリーズの中から選んでもらっています。
四、地域の方々との交流
夏には朗読会やお話の会などを行う「夕涼み会」。秋にはお話の会や工作もあり大人も子供も楽しめる「図書館フェスタ」などを実施。多くの村民に利用していただけているような取り組みをとおして利用者も確実に増えており、平日で一五〇冊、休日には三〇〇冊程の貸出があります。村外からの利用者も多く訪れています。いろいろな文化財のある青木村を散策がてら、是非図書館にも足を運んでみてはどうでしょうか。



8. 歴史文化資料館への渡り廊下。展示スペースになっています 9. 栗原一石路資料展示室 10. 青木村義民資料展示室 11. 歴史文化資料館の外観



一人に二冊ずつの本を配布して、子育て支援に力を入れていきます。

一冊はロングセラーである瀬川康男が絵をかいた「いいないないばあ」もう一冊は「0・1・2」のシリーズの中から選んでもらっています。

夏には朗読会やお話の会などを行う「夕涼み会」。秋にはお話の会や工作もあり大人も子供も楽しめる「図書館フェスタ」などを実施。多くの村民に利用していただけているような取り組みをとおして利用者も確実に増えており、平日で一五〇冊、休日には三〇〇冊程の貸出があります。村外からの利用者も多く訪れています。いろいろな文化財のある青木村を散策がてら、是非図書館にも足を運んでみてはどうでしょうか。

